

風は南から 清水南中等部便り 3

令和元年 6 月 14 日

静岡県立清水南

高等学校中等部

『南陵祭大成功・・・さあ次へ』

6 月 7 日（金）は南陵祭ステージ部門がマリナートで行われました。中等部にとっては、1 年生の合唱、2 年生のショークワイヤー、3 年生のミュージカルと、高校生、保護者のみなさんに生き生きと表現する姿をお見せする場となりました。

1 年生の合唱曲は、「夢を追いかけて」。たった 2 ヶ月の週 1 時間の音楽の時間で練習したとは思えないほどの歌声をホールに響かせました。中学 1 年生らしい元気よさと、透き通るような声質、そして、1 年生の中学生生活のスタートにふさわしい歌詞。聞いている私たちにさわやかな風を届けてくれました。



2 年生のショークワイヤーのテーマは「ラグビーワールドカップ」。



「兵、走る」「ワールド イン ユニオン」「ヒーロー」などラグビーに関係する曲を選び、歌と踊りで、まもなく始まるワールドカップを盛り上げようと、カー杯演技。きびきびとした、統一感のある動きがこれまでの練習の成果を感じるものとなりました。

最後は、「ハカ」。ニュージーランドのオールブラックスが対戦の前に行う相手に敬意を表すための踊り。力強い男子の叫びとともに、本校ラグビー部の健闘を期して、2 年生全員で踊りました。この様子は 6 月 8 日付の静岡新聞にも大きく取り上げられました。

3 年生のミュージカルは「SONG & DANCE」。これまでの先輩たちが作り上げてきたミュージカルの名場面集ともいえる作品でした。そのため、高校生からは「懐かしい」「私の役」と言った声が聞こえてくるほど盛り上がり、会場が一つになった感じがしました。

準備スタートから約半年。うれしさ、苦しさ、楽しさ、つらさ……。いろいろな思いが詰まった舞台は、キレッキレのダンスと伸びやかな歌唱が最初から最後まで続き、多くの人に感動を与えてくれました。うれし涙の監督の言葉が印象的なフィナーレ。これからの 3 年生の成長を感じさせるものとなりました。 中等部は南陵祭でも「わくわく」



～次は部活動！最後の大会に向けて全力投球～

中体連等、中学における最後の大会が近づいてきました。その大会に弾みをつけるように、いくつかの部でよい結果を収めることができました。ご紹介いたします。

女子バスケットボール部は、5月に行われた 静岡県協会長杯争奪選手権大会中部地区予選において準優勝となりました。決勝戦は藤枝順心中学校。第4クォーターまで逆転、また逆転の大接戦。最後の1秒で相手のシュートが決まり、1ゴール差でおしくも敗れる悔しい結果となりました。



続く県大会は、6月8日（土）に行われました。初戦で浜松市立南部中学を破り、ベスト8進出。準々決勝では、おしくも西遠女子学園中学校に4ゴール差で惜敗。2大会連続のベスト4にはあと一步届きませんでした。中体連での巻き返しに期待しています。

陸上競技部では、6月8日（土）9日（日）に中学校通信陸上競技大会中部予選が行われました。この大会は全国まで続く大会で、中学生としてはもっとも大きな大会です。この大会で、3年生の矢澤高志さんが4種競技で第3位、松浦佑亮さんが第4位となりました。また、松浦佑亮君は110mハードルでも第7位になり、この2人（松浦さんは2種目）は県大会出場が決定しました。7月20日（土）、21日（日）に行われる県大会でも自己ベスト目指して、日々の練習に取り組んでももらいたいと思います。



棋道部では、文部科学大臣杯中学校将棋静岡県大会に参加し、1年生酒井萌佑さん、櫻井愛乃さん、2年生藤江優太さんの3人が団体戦B級で準優勝となりました。このB級は初心者を対象としたものですが、準優勝はこれからの活動の励みになるものです。

南陵祭も終わり、これからは部活動に全力で取り組める時間が増えます。男子バスケットボール部のデビュー戦も近づいてきています。テストもありますが、上手に時間を使い、悔いの残らない終わり方ができるように、保護者の皆様も御協力ください。

中等部は部活動でも「わくわく」

～2年生の教育相談が始まります～

6月17日（月）から21日（金）の間、2年生の教育相談を行います。今回は担任だけでなく、学年の他の教員、学年外の教員にも相談の対象を広げ、生徒自身が希望し、さまざまな教員に悩みや日頃思っていることを聞いてもらうようにしました。中には校長を希望した生徒もいて、私（南條：教頭です。）も数人の話を聞くことになっています。この取り組みは、困ったときに担任以外にも相談する窓口をもたせることで、悩みの解決や学校の中の居場所を作ることにつなげ、心穏やかな学校生活につなげることを目的としたものです。

本年度は、生徒たちの心のケアについても充実させていきたいと考えています。これまでカウンセラーの大越先生と1年生が出会う機会を作って、相談しやすい環境を作ったり、担任による面談を行ったりしてきました。さらに「メンタルトレーニング」を導入し、各学年1回ずつ講師を招いて「心を強くする」講座を開きます。（3年生はすべての講座に参加）講師は大儀見浩介先生です。すでに、5月17日に第1回目の講座「チームビルディング」を3年生に向けて開きました。これらの取り組みが生徒たちの健やかな成長につながることを期待しています。 中等部は勇気が「わくわく」

